

坂出市教育委員会点検・評価報告書
(平成30年度事業)

令和元年8月1日
坂出市教育委員会

I. 目的及び制度の概要

教育行政の効果的推進と市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行うものであり、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表するものです。

II. 点検・評価の方法

平成30年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検・評価を実施しました。この点検・評価に際しては、学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「坂出市教育評価委員会」を令和元年8月1日に開催しました。

III. 教育委員会活動の概要

坂出市教育委員会では、主体的で市民に信頼され開かれた教育委員会を目指し、平成30年度において以下の活動を行いました。

1. 委員構成

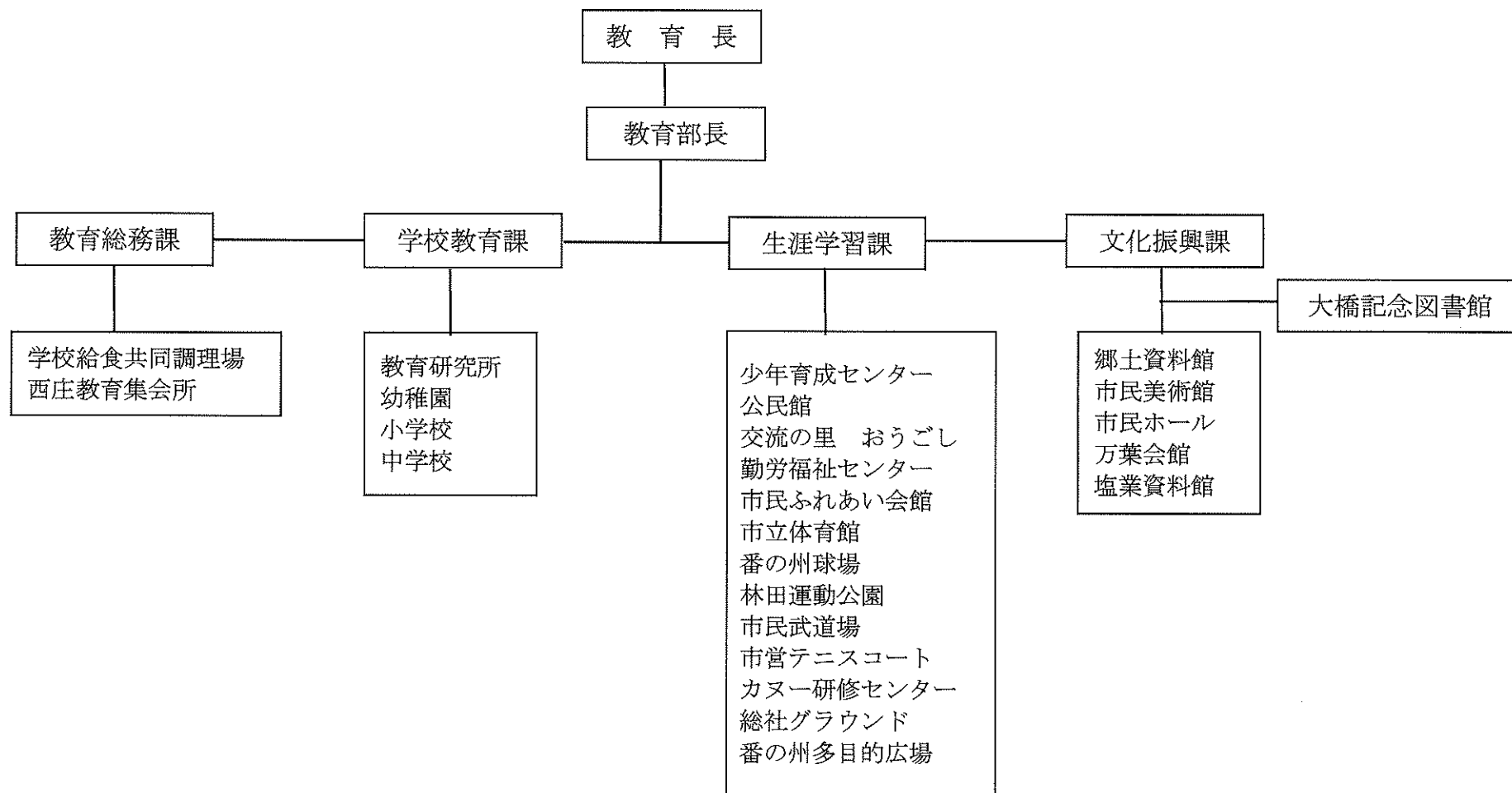
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携強化とともに、地方に対する国の関与の見直しを図る制度の抜本的な改革として改正されました。教育長は従来、教育委員の中より教育委員会によって任命されていましたが、新制度では議会の同意を得て市長から任命されることとなります。このことを受けて、本市においても平成27年4月1日付でこの新制度の下、國重英二氏が三好康弘氏の後任として新教育長として市長より任命されました。

教育委員会は、教育長と4名の教育委員をもって組織されており、平成31年3月31日現在の委員構成は次のとおりです。

坂出市教育委員会
教育長
委員
委員
委員
委員

國重 英二
斉藤 恵子
高尾 正彦
小川 幸彦
古田 桂子

2. 教育委員会事務局の組織図



3. 教育委員会会議の開催状況

会議は、原則として毎月1回定例会を、また必要に応じて臨時会を開催しており、平成30年度は合計14回開催いたしました。

教育委員会定例会	12回開催	議案56件	報告80件
教育委員会臨時会	2回開催	議案 2件	

4. 総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成27年4月1日から施行されたことに伴い、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るため、同法第1条の4の規定に基づき、市長が設置するもので、協議・調整する項目は以下の点があげられます。

1. 地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定
 2. 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
 3. 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置
- また、総合教育会議は、市長と教育委員によって構成され、地方公共団体の長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議・調整の場であり、総合教育会議自体は執行機関ではないものとして位置づけられています。

実施日	議 題
7月23日	就学前教育・保育について
12月19日	平成31年度教育予算について

5. 教育委員会のその他の活動

①要請訪問

市立幼稚園6園，小学校10校，中学校5校を対象としてすべて訪問することとし，6月6日から12月4日の間ですべての校園を訪問しました。

実施月	訪問校・園
6月	坂出中央幼稚園(6日)，松山小学校(13日)，加茂小学校(18日)，西庄小学校(20日)，坂出小学校(26日)，府中幼稚園(28日)，東部中学校(29日)
7月	松山幼稚園(10日)，川津幼稚園(12日)，林田幼稚園(18日)
9月	岩黒中学校(3日)，川津小学校(5日)，東部小学校(12日)，加茂幼稚園(19日)，府中小学校(20日)，金山小学校(26日)
10月	林田小学校(11日)
11月	白峰中学校(8日)，坂出中学校(16日)
12月	瀬居小・中学校(4日)

②香川縣市町教育委員会連絡協議会委員研修会

日 時 平成30年5月14日 午後3時～4時30分
 場 所 香川県庁本館12階第1・2会議室(高松市)
 出席者 教育長・教育委員2名
 研修内容 ・研究討議
 ・演題「命を守るための防災気象情報」
 高松气象台 防災管理官 川上 幸則氏

③市町教育行政意見交換会

日 時 平成30年8月30日 午後1時～3時
 場 所 香川県庁本館12階第1・2会議室(高松市)
 出席者 教育長・教育委員2名

④その他教育委員が関わる活動

4月 年度当初校園長会議
 5月～6月 幼・小中学校春季運動会
 9月 幼・小中学校秋季運動会
 10月 幼・小中学校秋季運動会, 水のフェスティバルin府中湖,
 11月 教育功労者表彰, 生涯学習フェスタ
 1月 成人式
 3月 幼稚園卒園式, 小中学校卒業式

IV. 事業の点検と評価の結果

次ページ以降に、教育大綱に基づく具体的施策の取組状況の点検と、重点目標については委員評価を掲載しています。

●評価基準について

区分	評価内容
A (達成)	計画が達成できた。
B (ほぼ達成)	やや問題も残るが、概ね達成できた。
C (課題有り)	課題を残し、目標も十分達成できなかった。
D (達成していない) (課題多い)	課題が多く、具体的成果がなかった。

坂出市教育大綱

基本理念

未来を拓く力をはぐくむ人づくり

基本目標・基本施策

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

1. 確かな学力の育成
2. 豊かな心の育成
3. 健やかでたくましい体の育成
4. 特別支援教育の充実
5. 人権・同和教育の推進
6. 幼児教育の充実

II 夢に向かって挑戦する教育の充実

1. 志をはぐくむ教育の充実
2. グローバル社会に対応した教育の推進

III ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

1. 郷土を愛する心をはぐくむ学習の充実
2. 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

1. 保護者・地域に開かれた学校づくり
2. 教職員の資質向上のための研修の充実
3. 安心できる子育て支援環境の整備
4. 魅力ある学校施設の整備充実

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

1. 生涯学習のまちづくりの推進
2. 家庭や地域における教育力向上のための支援
3. スポーツの推進

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

1. 文化芸術の振興
2. 文化財の保護

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

① 確かな学力の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
1	基礎・基本の定着と学力の向上	学校教育課	外部人材の有効な活用を図ることで学習意欲を喚起し、学び続ける態度を養う。	①外国語指導助手 小学校外国語，外国語活動，中学校英語の授業にネイティブを指導助手として市内全小学校3，4，5，6年生全学級に月2h，市内全中学校全学級に月1h配置 ②理科観察実験アシスタント 3年生以上の理科の実験用具の準備，理科室の整備等，理科の授業を充実するため，小学校8校に理科観察実験アシスタントを配置 (のべ450h)	平成19年度	
2	さかいでスクールサポートティーチャー派遣事業	学校教育課	経験豊かな退職教員を登録し，学校からの要請に応じて派遣することにより，坂出市立小中学校の学校教育活動のサポートを行い，児童生徒一人一人の学力等の向上に資する。	県内の公立小中学校において，教員として10年以上の勤務経験を有し，教育に熱意を有する退職教員を募り，適当と認められる者を登録し，学校からの要請により派遣する。 退職教員は，小中学校において，派遣先小中学校長の指導のもと，学力向上のための授業改善に向けた指導・助言等の活動を行う。退職教員の派遣については，1回当たり4時間以内とする。 (のべ1176h)	平成30年度	○ P24

② 豊かな心の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
3	問題行動への対策(人格形成と規範意識の涵養)	学校教育課	不登校，いじめ，暴力行為等の問題行動や虐待，体罰の未然防止や早期発見，早期対応を図る。	・市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置し，小中が連携して，児童生徒，保護者，教員の教育相談を行うことで，不登校における対応の充実を図る。また，市内中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し，児童生徒のおかれた様々な環境に働きかけて支援を行う。 ・いじめについては，定期的なアンケート実施と，教員による観察を強化し，未然防止に努める。また，坂出市いじめ問題等対策連絡協議会において策定された「坂出市いじめ防止基本方針」を，小中学校に周知し，徹底するよう指導している。 ・虐待については早期発見とともに，関係機関との連携により早期対応を図る。	平成12年度	○ P24

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
4	人的支援体制の充実	学校教育課	生徒指導や学校への登校に対し配慮を要する、一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定を図る。	①生徒指導補助員 中学生の暴力行為の未然防止、早期発見・早期対応のために、3中学校に3名の生徒指導補助員を配置 ②不登校対策教育支援センター 坂出中学校に「ふれあいの部屋」、白峰中学校に「であいの部屋」を置き、3名の職員を配置	①平成19年度 ②平成16年度	

③ 健やかでたくましい体の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
5	小児生活習慣病対策事業	学校教育課	近年、増加傾向にある小児期の肥満および肥満に起因する生活習慣病の早期発見および予防を目的とする。	市内市立小学校4年生全児童を対象に、小児生活習慣病予防健診の血液検査を実施し、当該検査結果を保護者および学校に通知することで児童の生活習慣の見直しおよび改善指導に結びつけていく。 坂出市小児生活習慣病予防対策委員会を年2回開催し、事前の効果的な啓発資料の作成、血液検査実施および事後の個別指導の内容、検査結果の分析、プライバシーの保護などの解決策を協議する。	平成24年度	

④ 特別支援教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
6	特別支援教育支援員の拡充	学校教育課	特別に支援を要する、一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定と学習・生活両面の基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。	・特別支援学級及び通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置している。 ・特別支援教育支援員研修会を幼稚園・小学校・中学校合同で年間2回実施し、発達障がいの状態を踏まえた支援に関する理解が進むよう取り組んでいる。	平成19年度	

⑤ 人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
7	私の考えを語る会 坂出市幼小中幼 児・児童・生徒の 人権展覧会	学校教育課	①私の考えを語る会 市内小中学校の児童・生徒の意見発表の 機会を設け交流を図りつつ、人権尊重意識 の高揚を目指すことを目的とする。 ②坂出市幼小中幼児・児童・生徒の人権展 覧会 市内幼小中の幼児・児童・生徒の人権展 覧会を開催し、人権尊重教育の成果を示す ことで人権尊重の市民啓発を図ることを目 的とする。	①身近な生活体験を通して、人権あるいは人間の生き方 に関する意見を、児童生徒が1題6分以内で発表する。 ②「私の考えを語る会」の開催当日と「人権週間」に合 わせて、市民ギャラリー「かもめ」において市内全幼小 中学校園、特別支援学校および市内4高校（賛助）の作 品を展示する。	①昭和56年度 ②昭和61年度	○ P24
8	人権・同和教育だ より PTA人権・同和 教育研修会	学校教育課	①人権・同和教育だより 坂出綾歌ブロックにおける住民を対象 に、人権意識の向上を目的として実施す る。 ②PTA人権・同和教育研修会 PTAが中心となって人権・同和研修を 企画し、保護者参観日に合わせて講演会・ 研修会を行うことで人権・同和教育に関す る啓発を図ることを目的とする。	①坂出市・宇多津町・綾川町の1市2町の人権・同和教育 担当者、教員等により内容および構成を検討する。本市 においては、12月広報とともに全戸配布している。 ②坂出市立学校の各校とPTAが協力し、保護者を対象 とした人権研修会を企画・実施している。 共働き世帯が増加し、保護者の参加を求めるのが難し い中、少しでも多くの参加を得られるようPTAおよび各学 校で相違工夫をこらしている。	①昭和51年度 以前より発行	
9	坂出市同和地区教 育連絡協議会 幼小中人権・同和 教育研究事業	学校教育課	①坂出市同和地区教育連絡協議会 同和地区における幼児・児童・生徒の教 育水準の向上を図ることを目的とする。 ②幼小中人権・同和教育研究事業 幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教 育主任その他の教職員を対象とし、人権・ 同和教育に関する研究を深めることを目的 とする。	①同和地区における幼児・児童・生徒の学習活動の推進 に関し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校が 校種の垣根を越えて連携を図る。 ②幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任等を対 象に年3回の現地研修、講演、授業・保育研究、各校園の 情報交換等を実施する。	①昭和56年度 ②昭和39年度	

⑥ 幼児教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
10	絵本に親しみ豊かな心をはぐくむ取組	学校教育課	幼児期から絵本やお話に親しむことの大切さについて幼稚園や家庭に啓発し、生涯にわたっての学習の基盤となる主体性や想像力、知的好奇心や言葉による表現力をはぐくむ。	幼児が絵本やお話に親しむ環境づくりを充実させ、豊かな心や思考力をはぐくむ取組としている。幼稚園や家庭において、絵本やお話に親しむことができるよう、教育課程や指導計画の中に位置付けるとともに、家庭への絵本の貸し出しについても充実できるよう、幼児にとって興味・関心のある魅力的な絵本の充実に努めている。	-	
11	幼児ふれあい茶道教室 (文化的・情緒的な体験から心をはぐくむ)	学校教育課	故大石キヨ子先生の遺志を受け、幼児が日本の伝統文化である茶道に親しみながら、茶道作法や情操を養う。	「幼児ふれあい茶道教室」として開催し平成30年度で12回実施した。市内幼稚園の5歳児が市民ふれあい会館において、裏千家淡交会の指導による茶道教室を体験している。 また、2月の「ふれあい茶道教室」までに各園において、茶道教室や茶会を開催することを通して日本の文化に親しむ機会をもっている。	平成19年度	
12	幼稚園評価の公表と保護者・地域との連携の工夫と改善(家庭や地域と連携した園づくり)	学校教育課	保護者や地域との連携を図りながら、地域社会に開かれた信頼される園づくりに努める。教職員の自己評価や保護者や学校関係者評価委員による評価を活かし園経営の改善を行う。	学校関係者評価委員の評価や指導助言及び教職員の自己評価や保護者アンケート(保育参観・各行事等)の評価から、危機管理・環境整備・保育内容の改善に努めている。 家庭や地域へ連携を密にできるような発信(園便り・学級便り等)の方法や内容について工夫をしている。	平成21年度	
13	子ども発達支援事業(5歳児健康診査・巡回相談)	学校教育課	幼児の健やかな成長や発達を促すとともに保護者が安心して子育てができるように、学校教育課・こども課・けんこう課が連携して、子育て支援の充実を図る。	①坂出市内の幼稚園・保育所の今年度内で満5歳になる年中児を健診スタッフが訪問し、一次健診(集団行動観察・個別健診・保護者面談)を行い、その結果に基づいた協議を行うとともに、健診及び保護者面談の結果について各園所に報告を行っている。 ②健診後のフォローアップとして、必要に応じ巡回相談や二次健診を実施する。保護者へ子どもに応じた支援のアドバイスや子育て相談、関係機関への紹介を行うとともに、園の保育環境や支援のフォローに努めている。	平成24年度	

II 夢に向かって挑戦する教育の充実

① 志をはぐくむ教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
14	さかいで-なかたど-あやうた算数・数学オリンピック	学校教育課	①児童生徒の算数・数学に対する興味・関心を喚起し、学習意欲を高める。 ②考える楽しさを体験し、主体的に学ぼうとする態度を育成する。 ③既習の知識、技能を活用して問題を解決することで、思考力・表現力を高める。	・実行委員会開催（年間2回：学識経験者、保護者、小中学校長会等） ・問題作成委員会開催（年間6回：小中学校教員20名） ・オリンピック実施（H30.8.5 坂出中学校） 参加記念バッジを参加者全員に配布 ・表彰式、解説の会（H30.8.19 勤労福祉センター） 金銀銅メダル、優秀賞、エガント賞、アイデア賞、エネア賞のべ60名	平成24年度	○ P25
15	心をはぐくむ講師派遣事業	学校教育課	社会の様々な分野で活躍している著名人を学校に招いて講演会を開くことで、児童生徒がその生き方に学び、具体的な自分の夢や志を考えるきっかけとする。	市内5校に講師を派遣し、講演会等を開いた。 ・川津小学校 平成30年11月26日 人形浄瑠璃公演・講話 ・府中小学校 平成30年11月27日 人形浄瑠璃公演・講話 ・坂出中学校 平成30年12月1日 落語家桂こけし講話 ・加茂小学校 平成30年12月5・10・14日 書家による実技指導・講話 ・東部中学校 平成30年12月10日 合唱作曲家による講話	平成24年度	○ P25

III ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

② 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
16	家庭・地域との連携と啓発	学校教育課	各校園の教育活動や情報提供を広く保護者や地域に発信し、学校教育に対する理解・協力を得るとともに、地域社会全体で子どもを育み、学習の深化、安全確保、環境整備等、学校教育の充実を図る。	園や学校の実情に応じて、保護者や地域関係者の教育活動への参加協力依頼を積極的に行う。 ①保育・授業参観 1日または半日のフリー参観を実施（全幼小中）、教育活動への保護者参加も工夫 ②地域学校協働活動推進事業 10小学校1中学校に、1校につき1名のボランティアコーディネーターを配置し、支援ボランティアが読み聞かせ、ゲストティーチャー、立哨、環境整備等の活動を行う。 ③コミュニティ・スクール導入事業 2小学校1中学校をコミュニティ・スクール導入推進校として指定し、先行的に実施する。 ④広報活動 学校だより、アンケート調査、ホームページ開設、メール配信等の実施	②平成27年度 ③平成29年度	

IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

① 保護者・地域に開かれた学校づくり

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
17	学校関係者評価委員会・学校経営支援委員会 (信頼される学校づくり)	学校教育課	各学校の学校評価(自己評価と学校関係者評価)について、専門的、客観的立場から評価し、指導・助言を行うことで、各校の学校運営の充実に資する。	各学校で管理職等による校内評価委員会は「自己評価書」を作成し、保護者および学校関係者からなる学校関係者評価委員会に提出する。 学校関係者評価委員会での協議を基に学校が作成した「学校評価書」について、学校経営支援委員会を開き、学識経験者、保護者4名が第三者評価を行い、その助言・指導を各校の学校運営の充実に資する。	平成21年度	

② 教職員の資質向上のための研修の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
18	教育研究所の研究・研修事業 (信頼される学校づくり)	学校教育課	新学習指導要領の理念に則し、学校、その他教育関係機関との連携のもとに教育研究所の5部会において、理論・実践の両面から調査研究を推進し、本市教育の充実・発展と教員の資質・能力の向上に資する。	<ul style="list-style-type: none"> ①学校人権・同和教育啓発資料作成部会 <ul style="list-style-type: none"> ・若い教師のための「同和教育」研修資料作成 ②不登校・特別支援教育部会 <ul style="list-style-type: none"> ・人と豊かに関わり自尊感情を高めていく支援の在り方を探る ③若年教員研修部会 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校算数における授業の工夫について【あると便利な算数グッズづくり】 ・道徳の授業と評価について(講話と演習) ・学級経営・生徒指導上の悩み(座談会) ④学校教育課題部会 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の外国語活動推進のための研究・研修 ⑤幼稚園教育部会 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期における発達に応じた環境構成・指導の在り方についての研究 	昭和55年	○ P25

③ 安心できる子育て支援環境の整備

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
19	放課後子ども教室推進事業	教育総務課	小学校において、放課後や週末に小学校や地域の公民館などを活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設けるとともに、地域の方々の参画を得て、子どもたちと地域住民との交流活動の取り組みを実施することで、心豊かな育成環境づくりの推進を図る。	・金山地区 テニス・パステルアート教室・ボール運動・そろばん・お菓子作り・華道教室を実施。 ・西庄地区 ボール運動・絵画教室を実施。	H21年度	
20	放課後児童健全育成事業（仲よし教室）	教育総務課	小学校に就学している1年生から5年生までのうち、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等に適切な遊び・生活の場を提供することにより、児童の健全な育成と子育て支援の充実を図る。	昭和48年度に旧西部小学校に設置して以来、順次、設置校を拡大し、平成30年度では加茂小学校で1教室増室し、9校で17教室を開室している。 松山小学校仲よし教室及び加茂小学校仲よし教室Aにおいて空調機取替工事を実施した。	S48年度	
21	幼稚園給食関連整備事業	教育総務課	幼稚園から給食を始めることで栄養が偏らないこと、好き嫌いがなくなるとともに食事のマナーも身につくなど、早期の食育教育の充実が図れるとともに小学校生活へスムーズに移行できることが挙げられており、保護者にとっても、安心して仕事に行けるなど子育て世代の負担軽減が図れる。	調理・配送業務の委託契約の締結、食器類など消耗品・備品の購入、調理場内の調理機器の設置、幼稚園職員との打ち合わせ・研修等を行い、平成30年9月に5園同時に給食を開始することができた。	H30年度	○ P26
22	通学・通園助成事業	教育総務課	学校、幼稚園の統廃合等により通学、通園が遠距離となる児童・生徒及び保護者の経済的負担の軽減と利便性の向上を図る。	既に実施の地区に加え、廃校園になった櫃石地区の保護者の負担を軽減するための助成を新たに始めた。	H30年度	○ P26

④ 魅力ある学校施設の整備充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
23	学校給食共同調理場整備事業	教育総務課	本市の新しい学校給食の拠点施設として、衛生管理基準を満たし、安全・安心でおいしく栄養バランスを考慮した学校給食の提供や食育の推進を図るために学校給食共同調理場を建設する。	本市が設置を検討している学校給食共同調理場の整備にあたり、学校給食法に基づいた安全で安心な学校給食を提供するため、民間事業者を活用したPFI手法を含めて効率的かつ効果的に事業を整備・運営する調査検討を行った。	H29年度	○ P26
24	留守番電話対応整備事業	教育総務課	「教職員の働き方改革」の一環として、教職員の長時間労働の負担感を軽減し、教員の本来の業務である授業づくりや子ども達の指導に専念できる環境を整える。	本市教育委員会は平成30年8月に「教職員の働き方改革プラン」を策定し、その取組みの一つとして、緊急時の連絡体制を確保したうえで、児童生徒が下校し、一定時間が経過した平日の夜間や休日を留守番電話対応とすることとし、そのための環境整備を行った。	H30年度	○ P26
25	学校再編整備事業	教育総務課	次代を担う子ども達の教育効果を第一に考え、最適規模の学習集団を編成し、学校が学校として最大限の機能を発揮できる教育環境整備を図る。	各地方公共団体は、令和2年度までに個別施設毎の長寿命化計画を策定することが求められている。本市では、令和元年度、2年度で計画を策定し、その結果によっては、児童・生徒数の動向を踏まえ、学校施設の再編整備についても、検討が必要となることから、長寿命化計画策定委託料の予算確保に努めた。	-	

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
26	女性セミナー	生涯学習課	高齢化社会を迎え、長い人生を自分らしく豊かに、いかに生きるかについて、楽しく学習していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「笑顔で福がやってくる！」 ・「小林一三 ～崖っぷち男夢の宝塚を拓く～」 ・「ウン知育教室」 ・「楽しくはつらつ ・「脳トレしよう！！」 ・「おはなしコンサート」 ・「どうする認知症？～脳活！！さん数小咄で～」 ・「豊かな心」 ・「うどん県クロニクル ・「～これが讃岐の底力～」 ・ふるさと探訪「城下町津山町並み散策」「琴電レトロ電車に乗ろう！！」 ※ 計 講演8回、現地学習2回 合計10回	-	
27	中央公民館市民講座	生涯学習課	市民に対し生涯学習の充実と学ぶ喜びの享受	<ul style="list-style-type: none"> ・つるとラタンのバスケタリー 182名 ・ふるさとの民謡 488名 ・漢字書道 582名 ・リトミック 248名 ・女性料理 360名 ・男性料理 312名 ・げんだい書 502名 ・パソコン 311名 ・絵手紙 462名 ・山野草 251名 ・陶芸 322名 11講座 	昭和42年度	
28	働く女性の家講座	生涯学習課	働く女性を対象に、女性のたしなみと教養など資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者の手編み 243名 ・ちぎり絵 268名 ・煎茶と礼法 51名 ・ZUMBA 764名 ・カントリークラフト 190名 ・着装とマナー 262名 ・英会話 287名 ・フラダンス 223名 ・スローエクササイズ 686名 	昭和52年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
29	生涯学習フェスタ	生涯学習課	生涯学習活動をされている団体の発表・展示の場を設けることにより、生涯学習の一層の振興に資し、まちづくり、人づくりを進める。	中央公民館と勤労福祉センターを会場に「生涯学習の発表の場」として、公民館講座（地区館も含む）や働く女性の家講座、公民館や勤労福祉センターなどで活動している自主グループの方の発表・展示および体験教室を行うなど、本市生涯学習の推進を図る。	平成28年度	○ P27
30	交流の里 おうごし	生涯学習課	旧王越小学校を、主に青少年や社会教育団体を対象とした宿泊型野外活動施設として平成29年度より開設し、王越地区のにぎわいづくりや地域交流の場として交流人口の増加を図る。	平成27年度に基本・実施設計を、平成28年度には改修工事を行い平成29年度に開設した。30年度においては、要望の出ている宿泊室へのエアコンの設置を行なった。	平成29年度	○ P27
31	親子向け・子ども向け講座	生涯学習課	土曜日（休日）の過ごし方の一つとして、子どもたち（親子）の学習の場、および、ともに汗を流す場を提供する。他の学校へ通う子どもたちとの出会いもあり、学校とはまた違う体験ができ、新たなものへの知識欲、人への思いやり、郷土愛など身につけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ●さかいでっこ探けん隊 計 12回 ・手作り工作系 4回 ・体験学習系 7回 ・運動系 1回 ●さかいでっこガイド隊 計 2回 ●チャレンジ！ニュースポーツ講座 計 5回 ●学ぶ！未来のトンボ学校 計 5回 内容（図工，家庭，理科） ●自然観察会 計 3回 ●SOMPOボールゲームフェスタin坂出 「ボールであそぼう」親子対象で様々なボールを使って体を動かす。 「キッズチャレンジ」小学生が対象でラグビー，バレーボール，ハンドボール，バスケットボールの4種目を体験する。	平成15年度	
32	人権学習講座	生涯学習課	人間の尊厳と人権の確立をめざして、家庭・学校教育をはじめとするいろいろな分野での人権問題を解決する手立てを学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「同和問題を正しく理解するために」 人権課主幹 堂尾 勇 ・「おはなしコンサート」 散歩道朗読会 ・「群上一揆～民衆が求めたものとは？～」 歴史研究家 上原 敏 ・「少年院の子どもたちとともに歩んで～一人ひとりかけがえのない大切ないのち～」 前丸亀市教育長 中野レイ子 		

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
33	坂出市成人式	生涯学習課	大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ますとともに、青年が社会のために尽くそうとする考えを持ってもらうとの趣旨から成人式を行なう。	<p>毎年成人の日に市民ホールにて開催。式は祭典と式典に分かれており各地区から成人代表（12名）が作り上げるはたちの祭典では、新成人代表による司会進行をはじめ、幼少期からのスライド映像と中学校時代の恩師からのメッセージを上映する。また式典では、市長・議長・国会議員からのお祝いのことば、記念品贈呈、成人のことばなどを行なう。</p> <p>※成人式までに、各地区からの新成人代表12名は7月より毎月1回程度会を開き、成人式の内容等について話し合う。</p>	昭和25年度	
34	婦人団体育成	生涯学習課	婦人団体連絡協議会は、女性の教養を高め、生活の刷新を図るとともに、地域社会の発展と福祉を増進することに努め、あわせて会員相互の親睦を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区における子どもやお年寄りの見守り ・ 生活文化展 ・ 地区敬老会 ・ 日赤・防災活動 ・ 市の行事の手伝い ・ その他数多くのボランティア活動 	-	
35	子ども会育成	生涯学習課	少子化や地域社会のつながりの希薄化のなか、子ども会行事を通じて、地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶなど、楽しい子ども会行事を通じて、地域に愛着をもち、誇りに思う子どもの育成を行う。	<p>地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ場を提供するとともに、地域の伝統行事などに子ども会活動を通じて参加する。</p> <p>ゆめ活動委託料・花いっぱい運動委託料・市子連活動補助金・地区子ども会活動補助金・ふるさとの親子まつり補助金・ドッジボール大会補助金・わんぱくゲーム大会補助金</p>	-	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
36	補導活動事業	生涯学習課	青少年の健全育成が図れるよう補導活動に努める。	<p>補導員による街頭補導，地域補導等の活動を関係団体と連携・協力しながら青少年の非行防止と健全育成に努めた。行政職員を除く非常駐補導員88名の活動に対して，1人・1回1,000円の費用弁償を支給している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中高校生徒指導教諭による夕方の街頭補導（毎月） ・地区補導員による夜間を中心とした地域補導（毎月） ・万引き防止巡回補導（月1回） ・列車合同補導（年3回） 	昭和40年度	
37	青色パトロール運行活動事業	生涯学習課	登下校中の子どもが被害に遭う犯罪の抑止に努めるとともに，地域の安全・防犯意識の向上を図り，地域ぐるみで安全なまちづくりを推進することを目的とする。	<p>本市では，少年育成センター公用車による青色防犯パトロールを午前・午後の2回実施しているほか，市内7団体の自主防犯団体が地域で行う青色防犯パトロール運行活動事業について補助金を交付することにより，安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を図っている。</p> <p>また，青色防犯パトロール団体情報交換会を開催し，不審者情報の迅速な連絡体制や活動の担い手づくりなどの課題について意見交換を行っている。</p>	平成21年度 (補助制度創設)	○ P27
38	地域育成活動事業	生涯学習課	地域における健全育成と団体の育成に努める	市内11地区の青少年健全育成町民会議が実施する非行防止・広報啓発・環境浄化活動等に対して助成することにより，各地区の町民会議の事業活動への連携を強化して，地域育成活動の充実を図った。	平成13年度	

③ スポーツの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
39	市内三校高等学校 野球定期戦大会	生涯学習課	青少年たちの持つ無限の可能性と協調の精神を養い、野球スポーツを計画的・継続的に実践し、それによって青少年の健全育成と体力の向上に努める。	市内の高等学校3校（坂出高校・坂出商業高校・坂出工業高校）による硬式野球リーグ戦を実施する。	昭和27年度	
40	総合型地域スポーツクラブ支援事業	生涯学習課	国のスポーツ振興基本計画に沿った、生涯スポーツ社会の実現を図るため、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する総合型地域スポーツクラブの支援を行う。	アウトドアスポーツの「歩く」と、インドアスポーツの「カローリング」を中心とした行事を行っている。五色台クリーンハイキングやカローリング交流大会など。	平成21年度	
41	ラジオ体操普及推進事業	生涯学習課	いつでも・どこでも・誰でもができるラジオ体操を普及推進し、市民の健康増進や、地域間交流及び家族間交流の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区巡回で「坂出市ラジオ体操大会」の開催 ・夏休みの最初の一週間に実施するラジオ体操週間 ・市役所本庁舎、合同庁舎、教育会館の始業前のラジオ体操放送 ・各地域に拠点となるラジオ体操広場を設置し、毎朝6時30分からラジオ体操放送 	平成25年度	○ P28

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
42	カヌーのまちさかいで推進事業	生涯学習課	<p>カヌー競技の普及，競技力の向上や，スポーツへの関心を高めることによる生涯スポーツの推進，地元からのオリンピック選手の輩出を目指す。</p> <p>また，2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致に取り組む中で，府中湖カヌー競技場を世界に向け発信し，本市の活性化やにぎわい創出に繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・競技の普及と競技力向上 ・東京2020オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致 ・研修センター・トレーニングセンター整備 ・全中カヌー・カヌースプリント・カヌースプリントジュニア・府中湖レガッタ・パラカヌー海外派遣選手選考会などの開催 	平成27年度	○ P28
43	ふるさと坂出スポーツ大会	生涯学習課	<p>四半世紀に渡り開催してきた瀬戸大橋駅伝競走大会に替わる事業として，市民の健康づくりと生涯スポーツの普及を目指し，地域における体育活動の活性化とスポーツ・レクリエーションでだれもが明るく豊かで活力のあるふるさとづくりを行うことを目的に開催。</p>	<p>各地区でチームを構成し，競技成績により順位・得点を付ける得点競技と，いくつかの行事への参加人数等によって，地区毎に得点を加算する参加点競技により総合得点を競う。</p> <p>得点競技 アジャタ，地区対抗レクリエーション 参加点競技 ラジオ体操，老人クラブスポーツ大会</p>	平成28年度	

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象	
44	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	築年数の経過に伴い老朽化が進んでいる図書館を安全、安心して利用できることを最優先に改修を行い、施設全体の維持管理、利用環境の整備を行う。	図書館駐車場等整備工事（設計業務） ほか施設改修工事 図書館駐車場に伴う測量設計業務 非常用照明取替工事 天窓周辺防水改修工事 児童室ドア改修工事 児童室おやこコーナー改修	4,944千円 746千円 669千円 594千円 538千円	昭和54年度	○ P28
45	資料収集・情報提供事業	文化振興課 図書館	いつでも、どこでも、誰でもが、暮らしに役立つ様々な情報提供サービスを受けられるように努める。本と人、人と人が出会うことで地域のコミュニティの活性化を図り、本を仲立ちにした子育て支援やまちづくりを推進する。	地域の情報拠点として、多様な市民の要求に応えられるように図書、記録、その他必要な資料を収集し、整理し、保存に努める。特に地域資料や行政資料に関しては、郷土資料として積極的に収集し、永年保存する。 また、様々な機関と連携して幅広い情報提供を行う。特集コーナーを設けるなど、地域の課題解決に役立つ資料展示を行う。	昭和54年度		
46	広報・啓発事業	文化振興課 図書館	図書館の利用と読書活動の啓発を促すため広報活動を行う。	パネル展示や企画行事を開催し読書機会の創出に努め、読書啓発活動を行う。新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミやホームページを活用するなど様々な方法により情報提供を行う。 春の読書週間 講演会 参加人員 58人 秋の読書週間 講演会 参加人員 60人 「録音の会」 参加人員 72人 「世界の子どもの本展」「瀬戸大橋工事写真展」 「教科書展示」「SOMLまとめ平成を彩った文学史」 「さかいでの創業支援フェアパネル展」 「オレンジリボンキャンペーン展」 広報さかいで、KBN、FMサン、図書館報、HPにより行事等の情報を発信。	昭和54年度		

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
47	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	すべての子どもが、いつでも、どこでも本と接することができる環境整備を行う。子ども行事や講師を派遣する出前授業を開催し読書機会の提供に努める。子どもの成長に関わる、様々な人や組織が連携して読書活動の推進に努める。	<p>坂出市子ども読書活動推進計画（第3次）に基づき、学校や関連部局と連携しながら子どもの読書機会の提供、保護者への啓発活動を行う。ボランティアと連携して行事を開催すると共に、ボランティアの資質向上のための育成講座を行う。</p> <p>「ボランティア育成講座」 参加人員 97人 「ブックスタート」 参加人員295人 絵本贈呈率100%</p> <p>「紙芝居の会」 参加人員138人 「わらべうたであそぼう」 参加人員282人 「ゆりかごおはなし会」 参加人員155人 「天体観察会」 参加人員343人 「外国語絵本よみきかせ」 参加人員137人 「出前授業」（加茂小，東部中，坂出商業）参加人員277人 「朗読の時間」（坂出工業） 参加人員416人 児童書年間貸出数 H30年度 177,711冊 数値目標 200,000冊</p>	平成18年度	○ P28
48	市民美術館企画展事業	文化振興課市 民美術館	市民に質の高い芸術・文化に触れ合う機会を提供するとともに、いろいろな展覧会事業を通して、市民一人ひとりが豊かな創造力や感性を育み、心にゆとりと潤いを持ち、特色ある地域文化の創造が図れるよう、芸術文化の振興に努める。	<p>魅力ある特別展として四国遍路をテーマにした「池知隆の美術館パーク展」を企画、美術家池知氏の霊場八十八ヶ寺の切り絵と昭和の原風景を紹介。 写真作品の寄贈に伴う企画展として「長田晴雄の視点」として地元出身で写真家の昭和坂出の風景写真を紹介。 継続事業では「写真コンクール・書道・ナイーブアート・児童絵画・障がい者アート・現代仏像彫刻」等を紹介。 教育普及活動として、ワークショップや美術館セミナー、ギャラリーコンサート等を実施。</p>	昭和61年度	○ P29

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
49	万葉企画事業	文化振興課	万葉集にも詠われた沙弥島を舞台に、柿本人麻呂が過ごした時代に思いをはせ、万葉の島である沙弥島に親しんでいただく。また、特色ある地域文化の保存、継承に努める。	地域の伝統文化や芸能等を発展させるため、竹食器を作り、古代米やヨメナを炊いて食する「万葉まつり」や、柿本人麻呂の歌を陰刻した茶器と煎茶による「万葉茶会」にの他に、新たに人形浄瑠璃公演を企画事業として加え、それらの企画事業を開催しながら貸館事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・4月29日 第18回沙弥島万葉まつり (59人) ・5月13日 第31回狭岑島万葉茶会 (171人) ・9月28日「現代人形サーカス この地球に生まれて」 (62人) ・3月2日「現代人形サーカス vol.2「The Nest」」 (68人) 	昭和63年度	
50	坂出歴史文化講座 (レキブンコウ)	文化振興課	本市に関わる歴史・文化・芸術方面にわたって学んでもらう講座を行い、古き良き坂出を知ってもらう。	毎年人気の香川県指定無形民俗文化財である櫃石ももて祭りの年1回の公開日に合わせての見学講座の他に、近年の戦国ブームに合わせて本市ゆかりの戦国武将仙石秀久に着目し、戦国時代の甲冑を手作りする講座を新たに開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・7月15日, 22日, 8月12日「甲冑講座①兜編」 (30人) ・9月9日, 10月7日, 21日「甲冑講座②鎧編」 (29人) ・1月27日「ひついいし魅て遊き4」 (18人) 	平成25年度	
51	文化芸術事業	文化振興課	万葉会館、ふれあい会館等の文化施設を活用しながら、市民の方々が文化芸術に親しむことができる機会の創出に努め、文化振興を図る。	交流の里おうごし、市民ふれあい会館に演出家等を招聘し、ワークショップを開催するとともに、人権劇「弱虫クエスト」とのコラボレーションにて地域演劇の振興を図った。 また、美術館の展覧会と併せてチェンバロ奏者石川陽子氏を招き「ギャラリーコンサート」を開催するとともに、市民ホールの休館前最終日に、市内高校出身のパーカッション奏者林千景氏によるサヌカイトコンサートと職員によるホール内部の解説、市民ホール完成当時の記録映像や写真展示を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・7月20日, 22日, 8月25日, 26日, 11月2日, 4日「演劇プチ大学」 (243人) ・10月20日「石川陽子チェンバロコンサート」 (66人) ・3月31日「坂出市民ホール45th Anniversary Memorial Event サヌカイト Sound Concert」 (160人) 	平成26年度	○ P29

② 文化財の保護

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
52	塩業資料館児童校外学習見学事業	文化振興課	坂出の歴史に深く関わった塩田や久米通賢について学んでもらうため、市内の公立小学3,4年生等を対象に、塩業資料館の学習見学を実施。	オリジナルテキスト「塩のひみつ」を利用し、市内の小学3・4年生を対象に1時間程の見学を実施。 講師は、当時の塩業作業等を実見している講師を招聘。塩業の歴史を子ども達に伝えながら、塩と坂出の古くからの歴史も学ぶ校外学習としている。 夏休み期間中は、塩を使った実験講座「Part3真夏に雪を降らせてみよう」を開催し、塩に親しみ、より身近に塩について考える機会とし、塩業資料館の周知に努めた。 ・校外学習（金山小学校ほか5校 230人） ・7月27日「ソルラボPart3」（24人）	平成25年度	
53	坂出市内遺跡発掘調査事業	文化振興課	坂出市内における遺跡の踏査、土木工事などに先立つ試掘調査および遺跡の範囲確認調査、また工事の際における現場での立会などを行い、貴重な埋蔵文化財を保護する。※本発掘調査は別事業である。	<ul style="list-style-type: none"> ・讃岐国府跡 太陽光パネル敷設工事に先行する事前確認調査を実施 ・府中町内確認調査 讃岐国府跡に近接する土地において、太陽光パネル敷設に併行した確認調査を実施 ・開法寺跡 道路アスファルト舗装工事に先立つ確認調査を実施 	平成3年度	
54	讃岐国府跡探索事業	文化振興課	平成25年2月に府中町本村地区に讃岐国府跡の所在が確定したことから、中心施設の可能性の高い遺構の検出や、今後の調査方法について、調査保存活用検討会議を開催し、国の史跡指定を目指す調査専門部会を組織し、指定に向け具体的に調査内容等の検討を進めながら、今後の讃岐国府跡の保存方法を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2月19日 讃岐国府跡保存活用検討会議 保存活用の方向性を示す会議を新たに立ち上げ、保存活用計画の作成について今後の方針等を検討 ・7月12日 3月18日 讃岐国府跡調査指導専門委員会 今年度の讃岐国府跡と開法寺跡発掘調査区の検討。調査後半にて調査状況の確認と成果の検討 ・3月17日 発掘成果報告会 「文献資料から見た讃岐国府 留守所の資料を中心に」 香川県立ミュージアム 渋谷啓一 讃岐国府跡調査・平成30年度開法寺跡発掘調査報告会 	平成26年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
55	文化財保護管理活用事業	文化振興課	坂出市内にある指定文化財周辺の管理（主に除草）を実施すること。また、市内の文化財所有者や保護団体に、保存、管理、活用に必要な費用を補助することを通じ、貴重な文化財の保護活用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財等周辺の除草、剪定 指定文化財の保存、管理、活用に対する補助 12月20日 文化財保護審議会開催 文化財関係書籍作成事業（印刷業務） 久米通賢関係資料修復事業（器物修復） 	昭和56年度	
56	開法寺跡遺物整理事業	文化振興課	讃岐国府跡の史跡指定に向けて、地区内の重要遺跡である開法寺跡が意見具申に不可欠の存在であることより、これまで開法寺跡の調査を行った坂出市教育委員会で、旧発掘調査資料の遺物整理を進め、平成28年度より再開した発掘調査の成果と比較照合しながら報告書作成を進める。	昭和45年から平成19年度までの調査により出土した、開法寺跡の瓦等の出土遺物全ての整理作業。嘱託員3名と指導者1名、職員1名で整理作業を進めており、平成11・12・15年度の瓦片の実測・拓本を行った。パンフレット開法寺通信IVを印刷し、報告会等で分析概要を速報し、整理成果の一部を公開した。	平成27年度	
57	沙弥島ナカダ浜等周辺整備事業	文化振興課	風光明媚で瀬戸内国際芸術祭の会場にもなり、また貴重な縄文遺跡や製塩遺跡が包蔵される沙弥ナカダ浜遺跡周辺において、海浜を中心に環境を整備するための事業。	<p>遺物収蔵施設として使用する予定だった旧海の家において、埋設水道管の漏水、亀裂、コンクリート剥落が確認されたことから安全性が危惧されたため、施設の解体除却を実施した。</p> <p>また、平成29年度に台風災害にあった沙弥島ナカダ浜及び遊歩道の保護修繕工事を実施した。</p> <p>また、旧海を家の漏水に伴い、その同支線の延長上にあった屋外トイレも解体除却し、車いす対応やアメニティー設備が整った屋外トイレを新設した</p>	平成27年度	○ P29
58	開法寺跡発掘調査事業	文化振興課	讃岐国府跡の史跡指定を進める際、隣接する開法寺跡が非常に重要となることから、今年度調査では東辺部に位置する礎石建物跡(推定 回廊跡)の規模、内容を把握し、讃岐国府跡の開法寺東方地区の遺構との関係を明らかにすることで、開法寺跡と讃岐国府跡の重要地区の史跡指定を目指す。	<p>調査地 坂出市府中町字本村5099-2</p> <p>調査面積 240㎡</p> <p>調査期間 平成30年9月18日から平成31年3月12日</p> <p>開法寺跡の推定伽藍遺構のうち、昨年度に引き続いて塔跡北東辺部に位置する推定回廊跡の再調査を実施。新たに礎石を3石検出し、伽藍配置理解の一助とするが、北部および南部への連続性は確認できていない。</p> <p>礎石建造物の性格については、西側に礎石が展開しないことと、推定基壇盛土部分の展開状況から、回廊であった可能性が依然として高い。</p> <p>深掘りを入れた部分について、礎石に先行する遺構が数カ所で確認された。隣接する東方地区（讃岐国府跡）との繋がりも指摘されることから、今後の検討課題も多く残されている。</p> <p>特筆すべき遺物としては銅印が出土している。</p>	平成28年度	

主要事業の点検評価

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

① 確かな学力の育成

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性
2	さかいでスクールサポート ティーチャー派遣事業	学校教育課	今の学校の状況を少しでも改善していくために退職教員を活用するということは、非常に有効な方法である。課題としては、予算を伴うことだが、退職教員の登録者数を増やしていけばいいのではないかと。非常にいい取り組みなので、さらに充実して欲しい。	A	充実 退職教員の登録数の増加に努め、より一層の充実を図っていく。

② 豊かな心の育成

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性
3	問題行動への対策 (人格形成と規範意識の涵養)	学校教育課	学校だけでなく、関係機関と広く連携し、いろいろな方のサポートを得られながら解決に向けて進めていって欲しい。 自己評価はB評価だが、委員評価としては、A評価とする。	A	充実 必要な人員の配置に努め、学校現場との連携を密にして生徒指導上の課題の解決のためのより充実した取組を推進する。

⑤ 人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性
7	私の考えを語る会 坂出市幼小中幼児・児童・生徒の人権展覧会	学校教育課	私の考えを語る会は、歴史もあり定評もあり、人権意識の高揚にとっては、市民をあげて関心のある事業である。今後とも継続していただきたい。	A	継続 参加者のアンケート等を実施し、よりよい方向性を見出し継続実施する。

II 夢に向かって挑戦する教育の充実

① 志をはぐくむ教育の充実

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性	
14	さかいで-なかたど-あやうた算数・数学オリンピック	学校教育課	市内の小中学校生の参加割合が目標に達していないということで自己評価はB評価だが、委員評価としては、A評価とする。募集する際に、プリントやポスターに参加した児童生徒の感想なども含めてみてはどうか。	A	継続	周知活動に工夫を凝らし、事業の継続を実施しつつ、学習内容を発展させた算数数学の問題に興味を示す一定の児童生徒に限らず、多くの児童生徒が学習意欲を高める事業への転換を研究する。
15	心をはぐくむ講師派遣事業	学校教育課	身近な方で児童・生徒たちが生き方を共感できるような講師を招き、今後も企画を続けてもらいたい。	A	充実	各校の希望を重視し、児童生徒が生き方を共感できるような講師の選定に努め、より一層の充実を図っていく。

IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

② 教職員の資質向上のための研修の充実

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性	
18	教育研究所の研究・研修事業 (信頼される学校づくり)	学校教育課	昨年に指摘した若年教員への指導や外国語活動の研修を積極的に取り入れることができている。今後も参加者が増えていくことを期待している。	A	充実	本市の教職員の資質能力の向上、子どもたちへの豊かな教育を提供するため、各部会において喫緊の課題を見定めさらなる充実を図っていく。

③ 安心できる子育て支援環境の整備

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性	
21	幼稚園給食関連整備事業	教育総務課	幼稚園で給食を完全実施できたことは、保護者も喜んでいるのではないかと。安全・安心でおいしい給食は、食育の基本にもなるので、今後も充実して進めて欲しい。	A	充実	今後も改善を行いながら、安心・安全な幼稚園給食を運営していく。
22	通学・通園助成事業	教育総務課	数値目標を立てるのは難しいと思うが、充実して進めて欲しい。	A	充実	瀬戸大橋通行料やガソリン代の変動など送迎費用について把握し、助成額の見直しなどに対応し、保護者の負担軽減に努める。

④ 魅力ある学校施設の整備充実

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性	
23	学校給食共同調理場整備事業	教育総務課	建設地の決定、事業手法の選定は難しいと思うが、早期の建設に向けて進めて欲しい。自己評価はC評価となっているが、委員評価としては、B評価とする。	B	継続	事業内容および、官民連携の観点も含め様ざまな手法の中から、最も効果的かつ効率的に事業を整備・運営できる方法を選定し、学校給食共同調理場の早期建設を目指す。
24	留守番電話対応整備事業	教育総務課	本当に緊急な場合は、警察や消防から教育委員会に連絡があるので、働き方改革につながるいい取り組みである。	A	継続	緊急時の連絡体制の確保に努めるが、今後、トラブルなどがあつた際は、原因を特定し、改善を行い、留守番電話対応を継続していく。

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性	
29	生涯学習フェスタ	生涯学習課	まなとピアから生涯学習フェスタに変わり、参加者も増えてうまく機能している。体験できる講座が増えており、工夫がよくできている。一層充実を図り、推進していただきたい。	A	充実	引き続き、生涯学習の振興に努めていく。また参加者自らが内容等についての意見を出し合う機会を設けるなど、市民共働による生涯学習フェスタとしていきたい。
30	交流の里 おうごし	生涯学習課	周辺施設の「王越とんぼランド」を整備し、体験プランの充実を図るとあるが、今後、予算の増額が必要になるのではないかと。	A	充実	交流の里おうごしを拠点とした体験プランの充実については、当施設の管理業務委託先である「王越町共に生きるまちづくり推進協議会」と協議を進めていく。また体験プランに係る費用については原則参加者負担と考えているが、協議を進める中で必要であれば予算の増額についても検討していきたい。

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性	
37	青色パトロール運行活動事業	生涯学習課	いろいろな情報に対して、迅速な対応ができている。情報交換会もしていて素晴らしい。そういうことを積み重ねることによって、市民の信頼・安心につながる。防犯の成果は図りにくいですが、指標を何かで表すことができないか。	A	継続	昨今、児童生徒の登下校時等における不審者事案が多く発生しており、青色防犯パトロール活動は、犯罪の未然抑止と市民に向けた安全・安心なまちづくりへの啓発につながっており、今後も事業を継続したい。 なお、数字で表す指標については、今後研究したい。

③ スポーツの推進

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性	
41	ラジオ体操普及推進事業	生涯学習課	事業概要欄について、参加人数など実績を記載して欲しい。	A	充実	引続き新たなラジオ体操広場の開設や、講師を招いてのラジオ体操講習会等を開催するなど、更なる普及・推進を図る。
42	カヌーのまちさかいで推進事業	生涯学習課	指標、数値目標が「オリンピック事前合宿誘致」となっているが、事業概要では、他の大会等の誘致もあるので、指標、数値目標に加えたかどうか。	A	充実	トレーニングセンターの完成に伴い、引き続き競技力の向上や合宿地等の誘致に取り組む。また、2020年の全国高等学校総合体育大会カヌー競技が府中湖カヌー競技場での開催も決まり、カヌー競技のさらなる普及に努めていきたい。

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性	
44	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	自己評価について、当初予算で計画した通り実施できたなら、A評価だと思われるが、自己評価を尊重してB評価とする。	B	継続	利用者の安全、安心を最優先に考えた改修を計画的に行う。
47	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	よく努力されて、貸出数も増え、自己評価はB評価だが、委員評価としては、A評価とする。自己評価をB評価にする場合、残された課題は何か。課題を説明欄に記載した方がいいのでは。	A	継続 市民協働	坂出市子ども読書活動推進計画に基づき、今後も市民協働で行事を開催、関連部局と連携し子どもの読書機会の提供、啓発を行う。

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性	
48	市民美術館企画展事業	文化振興課市民美術館	普及活動イベント数が指標となっているが、参加人数も指標に加えたかどうか。	A	継続	企画展の回数については、展示期間や財源などから一定の回数に限られることから、指標としては普及イベントの回数を目標としたが、参加人数も加味した目標値の設定を考える。
51	文化芸術事業	文化振興課	29年度から30年度にかけて決算額が3倍以上増えているにもかかわらず、参加者数が半分ぐらいに減っている。参加者の集計方法や、事業方式の見直しを含め検討して欲しい。	A	継続	演劇事業などの講座形式から公演を中心とする事業に見直しを図りながら、文化芸術振興として目標数値を超える事業を目指す。

② 文化財の保護

No	事業名	担当課	事業の委員評価	事業評価	今後の方向性	
57	沙弥島ナカダ浜等周辺整備事業	文化振興課	指標や数値目標について、30年度の事業は完了し一定の成果を得られたが、今後は指標についての見直しが必要になると思われる。	A	縮小	風光明媚な沙弥ナカダ浜を、県指定史跡の保護だけでなく、文学や芸術の島として、また景勝地としても多くの方が訪れて憩える場所として事業規模は縮小するが、新施設設や修築箇所も維持管理しながら自然海浜や史跡等の保存管理を行っていく。